

Title	中国・上海市における創意産業による旧工場の再利用と地域活性化に関する研究
Author(s)	李, 瑾
Citation	
Issue Date	
Text Version	ETD
URL	https://doi.org/10.18910/26192
DOI	10.18910/26192
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

論文内容の要旨

〔題名〕中国・上海市における創意産業による旧工場の再利用と地域活性化に関する研究

学位申請者 李瑾

本研究は、中国・上海市における創意産業園区とその周辺地区に変容に焦点を当て、創意産業（日本では創造産業という）の導入による旧工場の保全・発展経緯を把握した上で、創意産業園区の周辺地区に与える影響を明らかにすることにより、今後の創意産業園区政策の展開において、周辺地区の活性化を図る上での創意産業園区の運営方法ならび周辺地区との関係のあり方の検討を目的とした。

「第1章 創意産業の展開と都市の活性化」では、創意産業の産業分類や世界における創意産業政策の取り組み、中国・上海市での創意産業園区展開の背景について述べ、「第2章 上海市における創意産業園区の現状と課題」では、上海市における創意産業園区全体の展開、類型及び特徴について整理し、その現状と課題について述べた。

「第3章 創意産業による周辺関連企業への影響－筑園地区」では、上海市徐匯区における「筑園」創意産業園区を研究対象として、地域の変容に視点を当て、地域の既存企業に関連する分野の創意産業が導入された同園区の特徴と、創意産業の周辺地区への融合や共同発展の実態を把握することにより、旧工場地の活用だけでなく、それが周辺地区の発展に与える影響について検証した。

「第4章 創意産業による周辺地域への影響－田子坊地区」では、上海市黄浦区における「田子坊」創意産業園区を研究対象として、里弄建築地区に隣接する旧工場地に創意産業が導入されたことが里弄建築地区に与えた影響とその関連性について考察し、今後、他の創意産業園区において周辺地区の活性化を図る上での創意産業園区及び周辺地区の整備のあり方を検討した。

「第5章 創意産業園区運営のあり方－M50地区」では、上海市普陀区における「M50」創意産業園区を研究対象とし、園区管理者と入居者が旧工場を保全し芸術園区へと転用した経緯と、その運営、各種のイベント実施などの取り組み状況、入居者（会社・芸術家等）への波及効果を把握するとともに、運営機能をより強化するための運営主体のあり方を検証した。

結論では、始めに、創意産業を旧工場に導入する際には、園区管理者とテナントは単なる賃貸借関係ではなく良好な連携関係を保ちつつ、園区の将来の持続的な発展に向けての方針を共有しながら運営に当たることの重要性を明らかにした。また、運営面では、創意産業に関するイベントの開催が、意見交換等の機会となるだけでなく、市民にも芸術などの創意産業と触れ合う場所や機会を提供し、創意産業園区の集客や売上げの増加へとつながる有効な手段であることを示した。次に、創意産業園区の周辺地区に、関連業種の事業所が既に集積している場合に、周辺の事業所の特性や購買層のニーズをよく把握した上で双方の連携体制の確立が重要であることを明らかにした。さらに、園区周辺地区が居住系の地区である場合には、居住環境への悪影響やそれに伴うトラブル発生など問題も生じる可能性があり、商業施設等と住民生活とが両立できる環境づくりのための園区を含めた地区全体の管理体制の確立の必要性を明らかにした。とくに里弄建築地区のような歴史的建造物群から構成される地区では、建物の改造に関する監督・規制・指導の徹底が求められることを明らかにした。

以上を踏まえ、今後の旧工場地等への創意産業の導入と周辺地区の持続的な発展に向けて、園区の運営や管理のあり方、周辺住民の参加や政府による政策支援などの面からの具体的な方策を提案した。

論文審査の結果の要旨及び担当者

氏 名 (李 瑾)			
	(職)	氏	名
論文審査担当者	主査	教授	澤 木 昌 典
	副査	教授	矢 吹 信 喜
	副査	教授	加 賀 有 津 子

論文審査の結果の要旨

本論文は、中国・上海市における創意産業園区とその周辺地区に変容に焦点を当て、創意産業（日本では創造産業＝クリエイティブ・インダストリーという）の導入による旧工場地区の保全・発展経緯を把握した上で、創意産業園区の周辺地区に与える影響を明らかにすることにより、今後の創意産業園区政策の展開において、周辺地区の活性化を図る上での創意産業園区の運営方法ならび周辺地区との関係のあり方の検討を目的とした研究をとりまとめたものであり、周辺地区との相互関係や影響の見られる筑園創意産業園区および田子坊創意産業園区、さらに入居者が園区管理者とともに主体的に運営に関わっている M50 創意産業園区の 3 園区を対象に、入居者・園区管理者等ならびに周辺地区の事業所や管理組織を対象にした調査を通じて、創意産業園区が周辺地区との相乗的効果を発揮しながら持続的に発展していくための方策について論じたものである。得られた結果を要約すると、以下のとおりである。

- (1) 創意産業の産業分類や世界における創意産業政策の取り組みを整理した上で、中国・上海市での創意産業園区展開の経緯や類型ならびに特徴についてまとめ、その現状と課題を明らかにしている。
- (2) 集積する既存事業所に関連する産業分野の創意産業が導入された筑園創意産業園区（徐匯区）を対象として、創意産業と周辺地区事業所との交流や連携の実態を調査することにより、その影響の内容や連携上の課題を明らかにしている。
- (3) 里弄建築地区に隣接する旧工場地に創意産業が導入された田子坊創意産業園区（黄浦区）を対象として、創意産業が里弄建築地区という伝統的建築物からなる住宅地区に与えた正負の影響について調査し、自然発生的に起こった影響を時系列に整理するとともに、創意産業を活用した伝統的建築物地区の保全・改築による活性化の可能性を示している。
- (4) 園区管理者と入居者（創意産業会社・芸術家等）が協働で旧工場を保全し芸術園区へと転用した M50 創意産業園区（普陀区）を対象として、保全の経緯とその運営、各種のイベント実施などによる展開や、入居者への波及効果を把握するとともに、運営機能をより強化するための運営主体のあり方を示した。
- (5) 以上をもとに、今後の創意産業園区を持続的に発展に貢献する知見として、創意産業園区管理者と入居者の連携関係のあり方や、運営面での留意点を示すとともに、周辺地区と相乗的に発展していくための要点を、周辺の事業所の特性を加味した連携体制の確立の必要性、周辺地区が居住系地区である場合の居住環境上の配慮事項などを明示した上で、創意産業園区の運営や管理のあり方、周辺住民の参加や政府による政策支援などの面からの具体的な方策を提案している。

以上のように、本論文は環境・エネルギー工学の発展に寄与すること大である。

よって本論文は博士論文として価値あるものと認める。